## 地域での共助を考える

学校名 将監東中学校 氏名 小野寺 雅美

中学校版 単元名 地域の一員として P52~53

教科・領域名 総合的な学習の時間 時間 50 分

主な学習活動 (実際に行った活動)

ねらい 災害時,地域の一員としてどんなことができ るか考える。

1 大震災の際,自分のまわりでどのような**助け合い** があったのか振り返る。

3.11の直後、自分の住んでいる地域では、どんなことで助け合いましたか

- ・水汲み ・瓦礫の片付け ・近所の子の子守り
- ・買い出し ・水・弁当配り ・風呂の貸し借り
- ・ガソリンスタンドの情報交換 ・宿泊 等
- 2 **自主防災組織**の中で、自分でもできそうなことに ついて考える。

自主防災組織で行うことのなかで、<u>中学生で</u> <u>もできること</u>には、どのようなものがあると思 いますか?

- ・携帯電話での情報を伝える。・避難所への誘導
- ・軽傷の処置 ・炊き出しの手伝い 等
- 3 災害時要援護者支援について知る。

災害時要援護者とはどのような人のことを 指すのか知っていますか?

4 共助のために私たちに何ができるかを考える。

保健師さんの記録からを読み、<u>中学生の活動が効率よくできた理由</u>を考えてみましょう。

・普段から自分の住む地域のことを把握していれば 中学生も地域で役に立てる。・協力することが大切 指導の実際



1 自分たちの体験を振り返り、大震災の時に 地域の人々と協力して乗り切ったことを 思い出させる。





2 図を見ながら、**情報収集** 初期消火 救出・救護 避難誘導 給食・給水 について、それぞれ考えさせる。



↑図「浜松市防災ホっとぼっくす」(浜松市 HP) より

- 3 **災害時要援護者支援**について教師の説明 を聞き、ワークシートに記入させる。
  - ・高齢者,・難病患者,・妊婦,・障害者
  - ・5歳未満の乳幼児,・外国人など
- 4 東日本大震災の時に実際にあった中学生 の活躍を知り、効率よく活動するために大 切なことを話し合わせる。

(生徒の感想から)当時小学校4年生だったので3.11では何もできませんでしたが、今ならみんなと協力して地域の一員としてできることがあると思いました。